

## 労働組合に加入し共に闘おう！

### 3年雇い止め突破の成果も！共に闘おう！

補強議案で山崎書記長からは、「人事院勧告・退職手当など厳しい情勢となっているが、昨年は三年雇い止め突破や、港湾で増員を勝ち取るなど、運動の成果も見て取れる結果となった。道州制など直接的ではないが、国家戦略特区・労働基準監督員の委託など、じわじわと民間を巻き込んだ動きがある。マイナンバーの身分証化は全体として反対の姿勢を示していきたい。組織率も下がっている為、なかまづくりも頑張りたい」といった提案がされました。

身近に感じる内容、教訓等を広める内容に」と求めました。本部答弁では「特定の内容で記載の不足があるものの、補強された発言はまさにそのとおり、運動の教科書となる用に議案書を記載したい」との回答がありました。

### なかまの連携を強化 三大署名更なる取り組みを

三大署名の運動では「配布にばらつきがあり、重要性が薄まっていく。まとまった定期と『三大署名』の記載をすべき」と福岡県国公では九州豪雨のボランティアを募り、若手職員が参加した。実際では地域に喜ばれ参加してよかったとの感想が聞かれた。「昨年取り組んだ署名で、海洋環境船が委託から直営に変わった。成果として運動の理解につながった」との意見が出されました。本部答弁では「三大署名の取り組みで、反省すべき点は多く、次年度に向けて検討していく。自治体や議会請願など運動には更なる訴えも重要と考えている。ポランティア活動なども重要」との回答もありました。また、翌日の方針では、「大臣交渉を求める姿勢をもっと強くし、実現すべき」との意見が出され、東海から「増員

# 国土交通労働組合第7回定期大会を大津市で開催 なかまの団結で、安全・安心な 国民本位の国土交通行政を確立しよう！

## 国土交通労働組合 第7回定期大会

なかまの団結で、安全・安心な国民本位の国土交通行政を確立しよう！



議長団に座る、炭竈代議員

### 全国から一意見 参加で六一九七名

大会には全国から代議員・オブザーバ含め一九七名が参加し、議案書に関して各支部での取り組み事例を交えた、六一の意見が出されました。

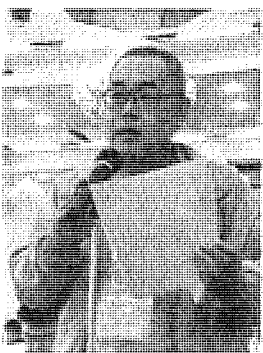
第七回国土交通労働組合定期大会が九月九日～十一日に滋賀県大津市の琵琶湖グランドホテルにて開催されました。支部からは、辻副委員長をはじめ、田口さん（豊橋分会）、横山さん（岐阜国分会）、炭竈書記長の四名の代議員が議論に参加し、本部議案が賛成多数で承認されました。また、議長団の一人炭竈書記長が選任されました。

### 組合員のための組織要求実現には粘り強い闘いが重要

冒頭委員長からの挨拶では「議案については、挨拶を一ページにまとめるなど解りやすく簡潔にした。情勢は二〇二〇年オリンピックに向けた動きが加速しているが、職場は人員不足で危機的状況。改めて組織活性化を行っていきたい。組織があるからではなく、組合員がいるから組織がある。要求実現には粘り強い運動・継続した運動が必要で、そのためにも仲間が必要。『アメリモマケズ』の詩にあるように、なかまのため、助けあい、協力・団結して運動に取り組んでいこう」と運動への決意を込めた挨拶がありました。

### 議案書を運動の教科書に

情勢では「森友学園問題は、当事者の職場もあり、担当者へ押付けさせない闘いが必要」や「戦争を助長する研究募集が多く、応募を強要させない対応が必要」との意見が出されました。東海からは「組合員が



発言する辻代議員

## 大会宣言

国土交通労働組合は、9月10日から11日にかけて、滋賀県大津市において代議員、オブザーバー、来賓、本部196名参加のもと第7回定期大会を開催し、1年間のたまたかの総括と今後1年間の運動方針を決定した。

今、私たちの職場では、業務量が大幅に増大する一方で、職員は減らされ続け、要員不足による長時間労働が恒常化している。あらゆる職場で疲弊している実態が、国土交通労働組合で実施した「長時間過密労働・不払い残業の実態調査」において明らかになった。長時間におよぶ超過勤務を余儀なくされ、強いストレスを抱えながら日々の業務にあたっている職員がいるなかで、官邸の一方的な指示のもと、必要な定員措置を認めず、観光庁は各部署から要員を吸い上げて対応している事態や、森友・加計問題も他人事ではなく、行政が歪められている実態など、政府の傲慢な姿勢が私たちの業務に強い影響をあたえている状況も報告された。

私たち国土交通労働組合は、国民本位の国土交通行政をめざして、定員削減の中止や必要な要員確保にむけた体制拡充をはかり国民世論を構築するため、国会請願の三大署名を旺盛にとりくみ、職場、地域から全国的な世論の理解と支持を広げる運動を、力強くすすめていくことを意志統一した。

人事院は国会と内閣に対し、一般職国家公務員の給与等に関する勧告と報告を行った。月例給、一時金ともに「4年連続の引き上げ」となったことは、私たちが格差と貧困の解消にむけ、2017年春闘を官民共同で旺盛にたたかってきた大きな成果である。一方で、勧告された引き上げ額では、悪化する生活環境の改善に至らないばかりか、現給保障廃止による賃下げ回避については何ら言及されず、これまで、私たちが求めていた再任用職員への生活関連手当や定外職員の待遇の抜本的な改善が盛り込まれなかったことは到底容認できるものではない。

また、国家公務員の定年延長の具体的な検討が行われているが、総人件費削減方針の動きを阻止しなければ、大幅な賃金の抑制につながるおそれがある。退職手当の引き下げ阻止、職責に見合った待遇改善を人事院や政府に対して追及していくことを意志統一した。

本大会では、平和運動の大切さや憲法改悪阻止に対するとりくみを強化する必要性が発言された。なかでも、組合員のみならず職場のなかまや家族に、国民平和行進や原水爆禁止世界大会への参加をすすめることにより、平和への願いを若い世代に引き継ぐことや、国民的課題に結果することで官民共同のつながりを生み出すことの必要性が報告された。また、身近な職場課題のとりくみとあわせ、平和な社会を希求する運動に結果することの重要性も強調された。さらに、安倍政権が2020年の施行を狙っている憲法改正や労働法制大改悪を阻止するため、最大限結果するとを確認した。

また、民間委託された海洋環境整備船を国の直営による運行へ転換させたことや、定外職員3年雇い止めの突破、地方整備局での再任用職員フルタイムの実現、さらに三大署名にもとづく運輸・気象職場での純増など、国土交通労働組合として省内の労働組合が統一したことによる、組織力を生かした運動で数々の成果が共有された。私たちが労働組合に結果し、粘り強く訴え続けることにより実現するという画期的な到達点をくり出してきたことを確信する必要がある。

しかしながら、結成以降、国土交通労働組合の組織率が低下していることは、国民本位の国土交通行政や我々の諸要求の実現さえも困難にしている。このような状況を打開し、組織をより大きくするため、目に見える活動、とりわけ教宣活動をはじめとする、日常活動をよりいっそう強めることを確認した。職場に労働組合の風を吹かし、なかまを増やすことが重要であり、すべてのなかまと対話を広げ、手を取り合い、ともに行動していくことが今まさに求められている。

国土交通労働組合は、組合員一人ひとりの要求を実現するため、身近な要求解決はもとより、公務差別、交通運輸・建設をはじめとする労働者と共同し、働くすべてのなかまとともに職場課題の改善、平和で安全・安心の社会づくりのため、よりいっそう奮闘していくものである。

以上、宣言する。

2017年9月11日  
国土交通労働組合第7回定期大会



発言する横山代議員

をもっと前面に取り組むべき。必要な要員数を議論し、数値化することで到達点や、当局への追及が具体になる。いかに苦しいか職場の声を上げるべき」と提案しました。本部答弁をはじめ、書記長総括答弁では「東

### 平和運動の姿勢について

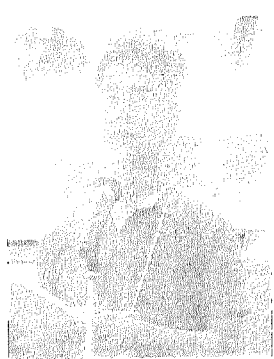
平和運動に関連して、「航空法により風船での航路阻害は許可されない行為、法制度の経過は公安的な一面があるが、過激な運動への協力をを行うのか」との意見が出され、本部答弁では「私

海から意見があった、要員確保に向けた運動は重要。職場での議論も必要で取り組んでいきたい」との回答がありました。

### 組織拡大専従について

予算でも提案されている組織拡大については「前向きに検討している。五、十年後を見据えていきたい」と回答した支部がある一方

たちは法に従い職務を遂行する必要はある。協力すべきところは協力し、私たちの立場も理解されるべき」「一部の過激な団体とは一線を画す」との回答がなされました。



発言する田口代議員

「返済などどう検討するか」等の意見が出され、東海からも、「詳細が不明で、組合員一人ひとりへの説明が不足」との意見を出しました。本部回答では「中央委員会一度提起しているが、今後職場で説明できる資料・内容を検討する」との回答が出され、さらには「まずは拡大が重要と捕らえている、実施は今後検討」と引き続き職場に説明する旨の回答がありました。そのほか、新幹線通勤手当を全額支払うべきなど私たちの職場と同様の意見も出され、統一要求課題として検討する旨の回答がなされました。



中部地方協議会（運輸・航空・港湾空港・建設）各支部の代議員団



機関紙コンクールでは三重県協ニュースが優秀賞に ※「東海」も佳作を受賞

### 全国青年交流集会是 11月25・26日北海道で開催!

大会では、JAL争議団支援の物販とあわせて、青年交流集会支援の物販が実施されました。今年度の交流集会是北海道で開催され、実行委員からは「ハワイ・イトイルミネーションなども開催されるため是非青年層に参加いただきたい。当日は寒いので防寒対策も」と集会実施に向けて、熱い呼びかけがありました。



行革関係で答弁する山田中央執行委員

最後に役員改選では、東海退出の山田中央執行委員が退任されました。二年間お疲れ様でした。